

様式第4号(第6条関係)

平成27年度 第1回
奈良市入札監視委員会 定例会議審議概要

開催日	平成27年7月10日(金)	
開催場所	奈良市役所北棟2階 第16会議室	
出席委員	委員長 森 裕之 委員 小島 幸保 委員 中川 雅晴	
審議対象期間	平成27年1月1日～ 平成27年3月31日	
抽出案件	件数	(備考) 今回の会議では次のとおり審議が行われた。 1. 抽出案件について 入札番号 451, 470, 499, 506(奈良市) 2. 設計変更ガイドラインに基づく報告について 3. その他
一般競争入札	4	
指名競争入札	0	
随意契約	0	
合計	4	
委員からの意見・質問・回答等	別紙のとおり	
委員会による意見具申の内容	・技術者不足等を考慮して、入札不成立にならないように発注時期を調整する必要がある。 ・十分な調整を行い、安易な設計変更が起きないよう、各課が共通認識を持って業務を行うこと。	

別紙

1 委員長の選任

委員の互選により、委員長に森委員が選任された。

2 抽出案件について

委員長 入札番号 451 番「畦畔復旧工事（601-5・北野山町地内）」ですが、抽出理由は、近隣の同種工事があり、当該工事の発注方法が合理的か否かの検討が必要という事です。農林課 台風被害が奈良市の東部地域一円に起こり、本案件以外にも3件同時期に発注していますが、場所が点在していますので別発注としました。

福岡部長 4件とも補助金の対象となる公共土木施設災害復旧ですか。

農林課 はい。公共土木施設災害復旧の財源の割合は、国50%、市30%、地方20%となっています。

中川委員 地元とはどういう意味ですか。

福岡部長 農地を所有している人の自己負担です。農地の畦畔は本来私有地ですから行政が復旧することはありませんが、農林災害だけは行政が実施します。

農林課 現地調査を行います。自己負担が大きくなる為に公共土木施設災害復旧工事としては行わない方も居られます。

福岡部長 公共土木施設災害復旧工事で一括発注することについては問題ないのですか。

農林課 ありません。しかし、農地という関係上3月末に災害復旧工事が終了していないと、4月からの農作業に入れません。工事の時期が合えば合併することも可能ですが、個人の負担金がありますので割り振りの問題が生じます。

委員長 他の3件も最低制限価格未満での応札が多かったのですか。

事務局 今回の案件は、最低制限価格算出割合が99.3%と高かったのが要因としてあります。

福岡部長 以前から問題になっている3%ルールですが、見直す事も考えています。

事務局 今回抽出理由となりました分割発注ですが、書類上はそのように受け取られますが、農林課の方から説明がありましたように個々の発注の方が適正であると考えています。

小島委員 かなり応札者が多いと感じるのですが。

事務局 設計金額が低い案件は工期が短く、工事が早く終わるので、応札率が高いです。特に土木ではE、F等級の応札率が高くなっています。

委員長 発注方法の合理性が確認されたと思います。それでは2件目、470番「富雄北小学校トイレ改修工事に伴う工事監理業務委託」ですが、多くの業者の入札額が予定価格に近似している点に疑問を抱きました。二名小学校トイレ改修工事に伴う工事監理業務委託については指名競争入札で実施し、これだけ落札率が低くなっています。

事務局 二名小学校トイレ改修工事に伴う工事監理業務委託と東登美ヶ丘小学校トイレ改修工事に伴う工事監理業務委託については指名競争入札にて実施しております。こちらにつきましては、工事に関連して、発注時期との兼ね合いで制限付一般競争入札にて実施する期間が持てませんでした。指名業者はA等級13者、B等級17者の内1者を除いた全者で合計29者を指名しています。

委員長 この業務は固定費等コストカットの余地は無いのですか。

福岡部長 殆どが人件費になります。

委員長 低い金額で入札している業者にはどのような理由が考えられますか。

福岡部長 経営者が自ら監理業務を実施すれば人件費をカットすることも可能かと思えます。

事務局 工事の専門技術者とは違い毎日現場に張り付く必要はありません。

中川委員 工事監理業務にはどの程度の時間を必要とするのですか。

営繕課 重要物品の現場搬入時の立会、施工図と奈良市の設計図書が一致しているかの確認、現場での進捗状況の確認と報告が業務としてあります。施工図とのチェックは現場でしないだけで、業務としてはかなりの時間を必要とします。

委員長 入札金額が予定価格に近いラインに集中するのは、殆どが人件費である為、入札金額を下げられる要因が無いが、入札金額が低い業者については特殊な事情があるという事で宜しいですか。

営繕課 はい。従業員を派遣するにしても、他の仕事が少なかった時期とも考えられます。

委員長 各委員は本来低い金額になる筈が、予定価格に近い金額の入札になっていることに対して問題視したのですが、この業務に係る経費は殆どが人件費であるため、経費削減が困難な案件であることが確認できました。次に入札番号 499 番「市営住宅空家補修工事（4）6 工区」ですが、この案件も発注方法が合理的か否かの検証です。

住宅課 出来る限り同じ住宅街で 1 件の発注として設計をしています。

委員長 工事をひとまとめにする事により予定価格が下がることはありますか。

住宅課 奈良市内一円を全てをまとめてしまうと、工事場所がかなり広範囲になってしまいますので、その分経費がかかります。

福岡部長 工事内容的には住宅のリフォームになりますので、等級の上位にある業者がするような内容でもないかと考えます。工期の関係もあり、2~3 軒の工事が限度と思います。但し、指摘をいただいたように、できる限り一括できる案件についてはまとめた発注を心がけたいと思います。

委員長 入札番号 506 番「奈良町南観光案内所整備その他工事」です。多くが辞退をし、1 者入札となったため不成立となりました。金額的には高い案件なのに、なぜ辞退がこれほど多くなったと考えられますか。

山本部長 この後に中学校給食室新築工事を 4 件発注しています。業者に聞いたところ、この案件よりも中学校給食室新築工事の方に参加する意向が高く、辞退したようです。

福岡部長 場所的に重機の進入が困難な面はあります。

山本部長 工事がやり難い面はあるかも知れませんが、それに対し中学校給食室新設工事は、近隣トラブルも少なく、工事としてはやりやすい面があります。そして今までも発注した事があり、大体同じ様な施設の建設ですから施工にも慣れていると考えます。

委員長 中学校給食室新設工事では、この案件で辞退した業者が落札しているのですか。

事務局 はい。

福岡部長 4 案件の内、3 つを A 等級の業者が落札し、1 つを B 等級の共同企業体が落札しています。

小島委員 今回の案件と給食室の案件の発注を入れ替えるのは可能ですか。

福岡部長 入れ替えるのは可能ですが、発注見通しを公表していますので、業者側からすると発注されるのは分かっていたと思います。この案件を余程早くに発注できれば別かとは思いますが。

委員長 発注時期の議論がありましたが、出来る限りの工夫をしていただきたいと思います。

3 設計変更ガイドラインについて

委員長 「中央体育館他 1 館改修工事」ということですが、なぜ当初より設計に組み込んでいないのかという疑問はあります。不測の事態が生じたというものではないと思います。

山本部長 期間が限られているのが一番の問題点です。どうしても年度内に工事を完了したいので、十分な調整をしないままに設計をし、発注したという経緯があります。

営繕課 着手前に耐震改修工事を実施し、長期間体育館の使用を制限していました。スポーツ振

興課の要望を設計図書に反映させるには一定の整備計画を作成し、どの程度のものにするか検討が必要になります。しかし耐震改修工事に引き続いて工事をしなければならなかったため、発注時期までの期間がなく、当初の設計に基づいての発注となりました。

福岡部長 会計契約部としては、委員長からの指摘の通りだと考えております。諸事情があるにしても、当初より見込んでおくべき内容と考えます。入札審査会に於きましても当初の設計とおりに改修工事を完了し、その後再度発注となりますと二重の投資にもなりますので、やらざるを得ないという議論の中で審査会で承認となった経緯があります。

委員長 普通だったら考えると思います。

小島委員 臭気の問題は和式か洋式とは別問題であると思います。あるべき姿の議論が遅くなってしまったがために設計変更が起こったということになります。

中川委員 会計として考えた場合、増額された金額で予算化されているのですか。

福岡部長 予算は運用して賄っています。好ましくはありませんので、審査会に於いても委員長より今後このような設計変更が起きないように十分調整した上で発注するようにと厳重注意がありました。

委員長 同じ様な議論がなされていたという事が確認できました。是非、全ての課において共通認識をして頂き業務を行ってもらいたいと思います。